

# 費用対効果を指摘

**反対** 畑中法子議員

後期高齢者医療特別会計への繰出金が問題

民主党政権が選挙前に約束した後期高齢者医療制度の廃止を4年後に先送りしました。一般会計予算に後期高齢者医療制度への繰出金がある以上、反対します。

**賛成** 中津伸一議員

人間で言えば血液の流れのようなものだ

一般会計予算は、人間で言えば血液の流れのようなものです。町民から「広野町に住んで良かった」と言われるような町づくりを真剣に執行してもらうことを願って賛成すべきです。

平成22年3月定例会を、3月5日から15日までの会期で開きました。

今回は、平成22年度予算を中心に、条例の改正や補正予算など、提出された31の議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

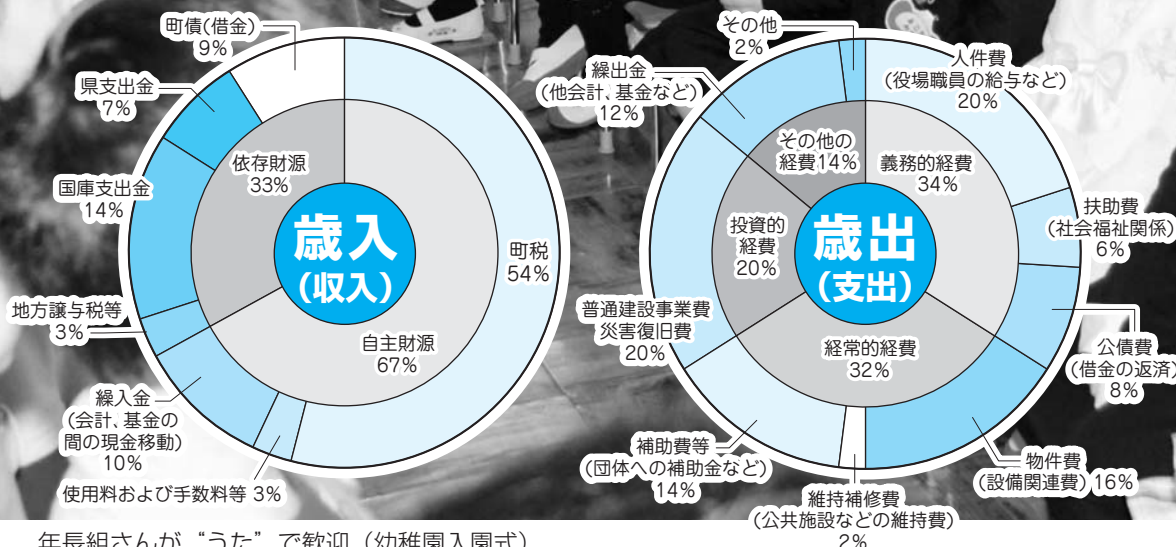
一般会計予算については、ほぼ前年度なみの総額34億9,642万円となりましたが、歳入については、主要財源である東京電力(株)広野火力発電所にかかる固定資産税収入が年々減少することに加え、経済不況により法人町民税が減少し、町税収入が前年度より大きく落ち込むことから、町債(借金)や財政調整基金(貯金)からの繰り入れによって不足分が補われます。

歳出については、厳しい行財政運営が続く中において、「町道下浅見川線整備事業」や「日の出橋整備事業」など、多くの公共事業が予定されていることから、費用対効果(かける費用と得られる効果の度合い)を指摘する意見が多く出されました。



平成22年度一般会計当初予算採決の様子

平成22年度一般会計予算(34億9,642万円)の割合



年長組さんが「うた」で歓迎(幼稚園入園式)

地方債残高(町の借金) 平成21年度末見込

地方債(一般会計)	26億4,713万円
広野町簡易水道事業債	2億864万円
広野町下水道事業債	18億2,760万円
農業集落排水事業債	3億5,141万円
<b>合計</b>	<b>50億3,478万円</b>
町民一人あたりの借金	約91万円
※前年度比	△2万円

基金・積立金残高(町の貯金) 平成21年度末見込

財政調整基金	4億9,809万円
電源立地促進対策交付金施設維持基金	2億8,663万円
奨学資金貸与基金	1億1,068万円
文化およびスポーツ振興基金	6,804万円
ふれあい福祉基金	1億2,515万円
介護給付費準備基金	4,742万円
その他の基金の計	1億4,667万円
積立金(預金)	4億5,590万円
<b>合計</b>	<b>17億3,858万円</b>
町民一人あたりの貯金	約31万円
※前年度比	△4万円

会計名	予算額	前年度比	採決の状況
一般会計	34億9,642万円	△0.97%	賛成10、反対1で可決
国民健康保険	5億8,596万円	0.26%	全員賛成で可決
土地開発事業	706万円	△4.99%	〃
老人保健	31万円	△77.10%	賛成10、反対1で可決
公共下水道事業	2億5,789万円	△2.71%	全員賛成で可決
農業集落排水事業	3,228万円	△8.67%	〃
介護保険	3億8,297万円	44.78%	〃
後期高齢者医療	4,087万円	5.95%	賛成10、反対1で可決
<b>合計</b>	<b>48億378万円</b>	1.61%	

※金額は、全て千円未満を切り捨てて表示しています。

22年度

町の運営費と財政事情